みやぎ県議会だより

平成30年
11月定例会特集
第128号

編集・発行　宮城県議会広報委員会
TEL 022(211)3592
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号

「震災支援策 延長を」

償還猶予や健康事業など

第366回宮城県議会（11月定例会）は、平成30年11月26日から12月17日まで22日間の会期で開かれた。261億円を追加する平成30年度一般会計補正予算案、議員発議の4選挙区で議員定数を2増2減する条例改正案、県いじめ防止対策推進条例案など、計60議案を原案通り可決。辞任した中島源陽前議長の後任選挙では佐藤光樹議員を第42代議長に選出した。一般質問では東日本大震災の被災者支援や産業振興などを巡り、活発に質疑が交わされた。予算特別委では「上工下水一体官民連携」について、多くの質疑があった。

11月定例会の本会議

震災関連で議員は、被災した中小企業の再建を支援するグループ補助金について「自己負担分の返済が始まり、破産や廃業した例もある。償還猶予を延長するよう、国や関係機関に働きかけるべきではないか」と質問。経済商工観光部長は「（自己負担分返済の）相談があった場合、事業者の状況や意向を踏まえ、柔軟に取り組んでいる。ぜひ、相談してほしい」と答弁。金融機関からの借り入れについても「柔軟な対応を依頼する文書を出すことにしている」と述べた。

被災者支援総合交付金を活用した被災者支援事業にも質問があった。議員は「生活支援相談員による応急仮設住宅入居者らの見守りや保健師による健康相談などがある。複数年の継続実施と十分な財源確保が重要と思うがどうか」と質問。知事は「極めて重要な事業だ。生活や健康をはじめ、地域コミュニティー再構築などに支援が必要で財政支援の継続を国に強く要望する」と答えた。

サーモン養殖や種子条例で質疑

産業振興

1次産業振興で議員は、昨年4月に廃止された主要農産物種子法に関連し「優良種子の低廉かつ安定的な供給は県の責務だ。各県が条例制定に乗り出している。安心して営農を続けるため、わが県でも種子条例の制定が不可欠と考える。要綱・要領は制定されたが、ぜひ知事が先頭に立って種子条例をつくってほしい」と求めた。知事は「県が責任を持って守っていくということで要綱・要領とした。条例化している県もあり、多くの議員から同様の質問もあったことから、よく検討してほしいと（職員に）指示した。職員に考えてもらった上で、あらためて方針として出したい」と答えた。

水産業では議員が「気仙沼市の民間企業が、使われていない漁場を活用したサーモン養殖の意向を示したが、県は漁業権の更新手続きの時期的制約を理由に難色を示した。創造的復興の具現化として官民一体で取り組むべきではないか」と質問した。知事は「（昨年）9月の漁業権一斉切替まで間がない5～6月ごろに話があった。経済性や周辺漁業への影響も考えられることから、慎重に対応しなければならず、そうした対応になったことを理解してほしい」と述べた。

いじめ対策にSNS活用を

いじめ対策で議員は「児童生徒が気軽に相談できるように会員制交流サイト（SNS）などを活用した取り組みが必要と思うが、どうか」と質問。教育長は「既に先行して導入し、成果が見られる自治体もある。県教委としても早期実施に向け、検討を進める」と前向きな考えを示した。

議員は「中学校の不登校割合は3年連続で全国ワースト1位だ。みやぎ子どもの心のケアハウスなどの取り組み成果はなかったのか」と質問。教育長は「心のケアハウスを設置した市町は未設置市町村に比べ、中学校での再登校率が15ポイント以上上回っている」と答えた。

被災児童生徒支援では「教育格差や子どもの貧困の連鎖につながらないように、被災児童生徒就学援助事業補助金を2021年度以降も継続するよう、国に要請すべきではないか」と質問。教育長は「21年度以降も引き続き実施できるよう国に要望しており、今後も継続する」と答弁した。

「オルレ」生かし広域観光

サン・ファン号との連動も

観光振興で議員は、昨年10月に気仙沼、東松島両市に開設された「宮城オルレ」について「沿線一体となった広域観光を展開すべきではないか」と質問。経済商工観光部長は「広域事業は重要な視点。各地域、団体と連携し、ルート発信や旅行会社への旅行商品造成を働き掛ける」と述べた。

24時間化の検討が進められている仙台空港について議員は「格安航空会社（LCC）のシェアが上昇し、国内線ネットワークも急成長している成田空港を経由したインバウンドの獲得に取り組むべきではないか」と質問。土木部長は「現在1日2往復の仙台－成田線の利便性をより高める必要がある。（仙台空港を）運営する仙台国際空港と連携し、増便と海外直行便誘致に力を入れる」と述べた。

老朽化に伴い解体が決まり、後継船の在り方を県が設置した委員会で検討している復元船サン・ファン・バウティスタ号について議員は「ヨーロッパ系の外国人観光客は木造船への興味が強い。インバウンド対策、観光拠点になると思うがどうか」と質問。知事は「太平洋を2往復した歴史的事実は、世界の興味を引く事績で、県の観光拠点になり得る。オルレなどとの連携を通じ、石巻、東松島を訪れた方々を誘導する方法を考えていきたい」と答えた。

「土砂条例」の制定求める

台風や豪雨被害が相次いでいることから議員は「県内陸部の河川整備が進んでいない。復興予算を活用し、重点的に整備を行うべきではないか」と質問。知事は「国は河川改修や砂防などの緊急対策を年内にまとめ、3年間で集中的に実施する予定だ。緊急対策予算を確実に確保し、復興予算を含む河川改修に必要な予算について国に強く要望していく」と答えた。

土砂災害防止に向け「土砂条例」の制定も求めた。議員は名取市であった河川への残土流出などに触れ、「再発防止に加え、不適切な埋め立てや盛り土、堆積から発生する土砂災害を防ぐため、土砂条例を制定すべきではないか」と質問。村井知事は「崩落防止を主目的とする土砂条例の制定に向け、庁内検討を進めている」と答弁した。

地震による倒壊が懸念されるブロック塀について議員は「学校敷地内における安全点検調査の状況、対応はどうか」と質問。教育長は「学校敷地内にブロック塀がある県立学校は17校、市町村立学校は83校ある。県立学校については全て撤去する。11月末までに12校で撤去した。残りについても順次進める」と答えた。

質問者と主な質問項目

○**一般質問**（16人）

▽**仁田和廣**（自民）復興の諸問題について、障害者問題の解決策について、インバウンド及び輸出について▽**高橋啓**（県民の声）自然災害に対する備えとその対応について、野生鳥獣被害の現状とその対策について、再生可能エネルギーへの取り組みと課題について、農業への取り組みとその対策について、地方創生の取り組みとサン・ファン号のあり方検討について、県における障害者法定雇用の現状とその見直し対策について、「教育立県宮城」の実現と対策について▽**長谷川敦**（自民）栗原地域の観光振興について、国際リニアコライダーの東北誘致推進について、災害に備える県の河川整備について、障がい者をめぐる諸課題について▽**中嶋廉**（共産）行き届いた教育のために、教職員を増やし、非常勤の処遇改善を求める、原発政策の転換、女川原発再稼働の是非にかかわる県民投票について、「廃炉の時代」の課題、困難を過重する再稼働の中止を求めよ

▽**渡辺勝幸**（自民）県民の体力向上・障害者スポーツの推進について、子供たちの教育に関する課題について、歯と口腔の健康について、河川関係事業費の確保及び水系単位の圏域防災について▽**畠山和純**（自民）創造的復興を目指して（復興事業の課題について）▽**坂下やすこ**（県民の声）持続可能な社会を目指すエネルギー問題について、教育施設の危機管理体制について、多文化共生社会の実現に向けて、仙台空港について▽**守屋守武**（自民）震災復興における特例措置の期限の延長、財源確保について、宮城県のスポーツ振興の取り組みについて、県道気仙沼唐桑線化粧坂工区の進捗状況について、国際リニアコライダー誘致における対応について

▽**庄田圭佑**（自民）子供を取り巻く諸課題について、県政の諸課題について▽**天下みゆき**（共産）漁業と水産加工業をめぐる課題について、子どもが安心して暮らせる宮城に、国民健康保険と地方税滞納整理機構について▽**安部孝**（自民）宮城県の観光戦略について、宮城県の教育行政について▽**遠藤伸幸**（公明）いじめ防止対策推進条例について、建設発生土をめぐる問題について、マンションの諸課題について、医療、福祉施策の諸課題について

▽**佐々木喜藏**（自民）サン・ファン・バウティスタ号の利活用について、インフラ整備の効率化と長寿命化について▽**太田稔郎**（県民の声）農業の振興について、震災復興事業について、教育課題について▽**菅間進**（無所属の会）上工下水道コンセッション事業について、慶長遣欧使節帰国400年に向けて、発展期における県政の諸課題について▽**藤倉知格**（自民）県民会館の整備について、サン・ファン号をめぐる報道等について、農林水産業の振興と組織再編について、原発依存からの確実な脱却について、仙台北部地域への鉄軌道構想について

＜**会派名略称**▽▽自由民主党・県民会議＝（自民）▽みやぎ県民の声＝（県民の声）▽日本共産党宮城県会議員団＝（共産）▽公明党県議団＝（公明）▽社民党県議団＝（社民）▽無所属の会＝（無所属の会）▽21世紀クラブ＝（21世紀ク）

議決した議案等

発　議＜3件＞

○県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例の一部を改正する条例
○宮城県いじめ防止対策推進条例
○県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

意見書＜4件＞

○災害対策の充実強化を求める意見書
○商業捕鯨の再開を求める意見書
○中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業に係る財政支援の継続及び経営改善に関する総合的な支援措置を求める意見書
○認知症に対する施策の推進を求める意見書

可決・同意した知事提出議案＜53件＞

○平成30年度宮城県一般会計補正予算
○部制条例の一部を改正する条例
○警察署の名称、位置及び管轄区域に関する条例及び警察署協議会条例の一部を改正する条例
○地方独立行政法人宮城県立病院機構が達成すべき業務運営に関する目標を定めることについて
○工事請負契約の締結について（水門・陸閘（港湾）遠隔監視制御設備工事（その２））
○収用委員会委員の任命につき同意を求めることについて　ほか

採択した請願＜2件＞

○私立高等学校等への助成強化に関することについて
○私学助成拡充に関することについて

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

委員会構成

議会運営委員会　定数12人

◎本木忠一（自民）○長谷川敦（自民）坂下やすこ（県民の声）
ゆさみゆき（県民の声）福島かずえ（共産）伊藤和博（公明）
熊谷義彦（社民）渡辺勝幸（自民）守屋守武（自民）
佐々木幸士（自民）安藤俊威（自民）相沢光哉（自民）

総務企画委員会　定数10人

◎菊地恵一（自民）○高橋宗也（自民）藤原のりすけ（県民の声）
坂下賢（県民の声）角野達也（共産）庄子賢一（公明）
村上智行（自民）佐藤光樹（自民）齋藤正美（自民）
安藤俊威（自民）

環境生活農林水産委員会　定数10人

◎細川雄一（自民）○村上久仁（自民）佐々木功悦（県民の声）
中嶋　廉（共産）内藤隆司（共産）熊谷義彦（社民）
吉川寛康（21世紀ク）本木忠一（自民）長谷川洋一（自民）
畠山和純（自民）

保健福祉委員会　定数９人

◎守屋守武（自民）○ゆさみゆき（県民の声）
坂下やすこ（県民の声）伊藤和博（公明）天下みゆき（共産）
佐々木賢司（自民）佐々木幸士（自民）只野九十九（自民）
佐々木喜藏（自民）

経済商工観光委員会　定数９人

◎太田稔郎（県民の声）○深谷晃祐（自民）渡辺忠悦（無所属の会）
三浦一敏（共産）遠藤伸幸（公明）横山隆光（自民）
中島源陽（自民）安部　孝（自民）藤倉知格（自民）

建設企業委員会　定数10人

◎髙橋伸二（自民）○庄田圭佑（自民）すどう哲（県民の声）
髙橋啓（県民の声）遠藤いく子（共産）福島かずえ（共産）
石川光次郎（自民）中山耕一（自民）仁田和廣（自民）
中沢幸男（自民）

文教警察委員会　定数10人

◎長谷川敦（自民）○横山のぼる（公明）境　恒春（県民の声）
大内真理（共産）岸田清実（社民）菅間　進（無所属の会）
遠藤隼人（自民）渡辺勝幸（自民）渡辺和喜（自民）
相沢光哉（自民）

11月定例会では、議会運営委員会や常任委員会等の委員が選任された。また、予算特別委員会のほか大震災復興調査特別委員会など5つの調査特別委員会が設置された。

※◎委員長　○副委員長

予算特別委員会　議員全員

◎佐々木喜藏（自民）　○高橋啓（県民の声）

12月11日に委員10人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成30年度宮城県一般会計補正予算等を可決した。

●総括質疑者　髙橋伸二、菊地恵一、遠藤隼人、村上久仁（自民）坂下賢（県民の声）遠藤いく子（共産）庄子賢一（公明）岸田清実（社民）渡辺忠悦（無所属の会）吉川寛康（21世紀ク）

大震災復興調査特別委員会　定数15人

◎齋藤正美（自民）○村上智行（自民）坂下賢（県民の声）
高橋啓（県民の声）福島かずえ（共産）大内真理（共産）
遠藤伸幸（公明）熊谷義彦（社民）高橋宗也（自民）
深谷晃祐（自民）守屋守武（自民）細川雄一（自民）
佐々木喜藏（自民）本木忠一（自民）畠山和純（自民）

スポーツ振興調査特別委員会　定数10人

◎渡辺忠悦（無所属の会）○渡辺勝幸（自民）
藤原のりすけ（県民の声）太田稔郎（県民の声）
内藤隆司（共産）伊藤和博（公明）髙橋伸二（自民）
石川光次郎（自民）安部　孝（自民）相沢光哉（自民）

産業人材確保対策調査特別委員会　定数10人

◎岸田清実（社民）○遠藤隼人（自民）坂下やすこ（県民の声）
天下みゆき（共産）三浦一敏（共産）横山のぼる（公明）
村上久仁（自民）中山耕一（自民）長谷川洋一（自民）
渡辺和喜（自民）

総合観光戦略調査特別委員会　定数10人

◎中沢幸男（自民）○境　恒春（県民の声）
ゆさみゆき（県民の声）角野達也（共産）菅間　進（無所属の会）
吉川寛康（21世紀ク）庄田圭佑（自民）菊地恵一（自民）
安藤俊威（自民）藤倉知格（自民）

障がい児・者福祉調査特別委員会　定数９人

◎仁田和廣（自民）○中嶋　廉（共産）佐々木功悦（県民の声）
遠藤いく子（共産）横山隆光（自民）佐々木賢司（自民）
長谷川敦（自民）佐々木幸士（自民）庄子賢一（公明）

広報委員会

◎吉川寛康（21世紀ク）○佐々木賢司（自民）熊谷義彦（社民）
境　恒春（県民の声）中嶋　廉（共産）渡辺忠悦（無所属の会）
横山のぼる（公明）村上久仁（自民）

議員顕彰

本県議会議員として在職30年以上にわたり県治に寄与された功績が顕著であるため、中沢幸男議員（自民）が11月定例会で顕彰された。

議長就任あいさつ

佐藤光樹議長

11月定例会開会日に、佐藤光樹議員が議長に選任され、就任あいさつを行った。

佐藤議長は「議長として果たさなければならない責任の重さと与えられた課題の大きさに身の引き締まる思いをしている。東日本大震災から着実に復旧・復興が進み、創造的復興の諸施策も実を結びつつある。しかしながら、被災地ではコミュニティーの構築や水産業の再生などの問題が山積し、宮城県震災復興計画の完遂に向け、解決を急がなければならない。

また、人口減少やいじめ・不登校対策などさまざまな課題もあることから、県議会の果たす役割はますます大きくなっている。今後とも議会改革に取り組み、県民の皆さまの信頼に応えられるよう不断の覚悟で臨んでいく」と語った。

若者との意見交換会

意見交換会に参加した若者と議員

県議会は昨年11月７日、県議会庁舎で「若者と宮城県議会議員との意見交換会」を開催、県内在住の大学生９人が参加した。学生たちは「宮城県政に期待すること」をテーマに意見発表した後、観光や福祉など幅広い分野について議員と意見を交わした。意見交換会は、より県民に開かれた議会を目指すとともに、若者の議会への理解と関心を高め、議会を身近に感じてもらうことを目的に開催し、昨年度に続き２回目。

県議会からのお知らせ

●ラウンジコンサート　県議会では、年４回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。
◇次回コンサートの開催予定
・日時／２月13日（水）午後０時15分～45分
・場所／県議会庁舎１階ラウンジ
・出演／ル・レーヴ（声楽・デュオ）
◇コンサート出演者募集
・時期／６月、９月
・条件／無料出演（ピアノ以外の楽器は持ち込み）演奏ジャンル、プロ、アマチュアなど資格は問いません。
・締切／２月６日（水）（必着）
・詳細はホームページをご覧ください。
●傍聴のご案内　本会議、各委員会は手続きの上、傍聴できます。
▷お問い合わせ先　宮城県議会事務局総務課　TEL022(211)3571
●ホームページのご案内　定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。
●議会中継のご案内　スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけるようになりました。
ＱＲコードのアクセスはこちらから

宮城県議会　検索

「みやぎ県議会だより」への
ご意見・ご感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980－8570
仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL022(211)3592　FAX022(211)3598
Eメール gtyosas@pref.miyagi.lg.jp